

備前市 施策評価シート

(平成18年度事業)

施策名 (小項目)	広域行政	コード	作成者	役職	企画課長
		06-01-03		氏名	岩崎 透
			電話		64-1871

備前市総合計画の内容から記載する

施策の体系	大項目(基本目標)	健全で自立したまちづくり
	中項目(基本施策)	簡素で効率的な行財政運営
施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	県境隣接市町村、県南広域市町村、苫田ダム水源地域の市民が、安全・安心な生活ができるよう、広域連携を深める。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	モータリゼーションの進展、道路網の整備、近郊型大型店の出店などに伴い、市民の生活圏がますます広域化している。アンケートにおいても市外へ通勤・通学、通院、買い物が多く、本市だけでは効率的・効果的な行政サービスができない状況である。今後は、人口減少社会に突入し、地方分権が一層進んでいく中で、施策ごとの広域的な機能分担と関係行政機関との一層の連携等によりその各地域の特性と全地域のスケールメリットを生かし、相互に補完し合いながら効率的に地域の発展を図っていく必要がある。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策ごとに有効な広域連携・共同事務処理の推進</li> <li>広域行政機構の充実・強化</li> </ul>	

市民意識調査による施策の重要度・満足度

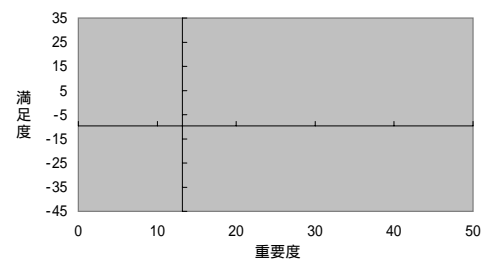
調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)			
満足度(%)			

<見直し領域>  
その施策や事業が必要か否かの検討が必要

<維持領域>  
現状の方向を継続

<検討領域>  
その施策や事業の存続の検討が必要

<強化領域>  
内容等を見直し、市民満足度を高める事業を行う



調査結果に対するコメント、市民の反応等	広域行政に関する市民の関心は、薄い。近隣市町との連携については、観光や公共交通などが市民に直接関係があるが、その中で、JRの延長・増便の要望がある。
---------------------	--

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	評価年度		目標値		ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H23	H28		
1	目標 実績 達成率 %						
2	目標 実績 達成率 %						
3	目標 実績 達成率 %						
4	目標 実績 達成率 %						

施策構成事務事業の評価		担当課長評価						優先順位 その他				
施策を構成する事務事業名	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業一覧表	事業 分類	事業費(単位:千円)								
				H17		H18			H19			
				直接 事業費	人件費	直接 事業費	人件費	直接 事業費	人件費			
1	広域振興協議会等運営事業	C	岡山県南広域市町村圏振興協議会負担金	内部管理	30		20					
			兵庫・岡山両県境隣接市町村地域振興協議会負担金	内部管理	20		20					
			空路利用促進会負担金	内部管理	5	2,330	5	1,480				
			苫田ダム水源地域振興事業負担金	内部管理	1,135		975					

この施策に要した費用(人件費込、単位:千円)	H17	H18	H19
	3,520	2,500	

以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	その説明
	共同処理事業の検討	

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度	3	合併により、広域行政の一つの目標は達成されたが、その他の事業も計画的に実施されている。	2	同左
2 事業構成の適当性	3	不要な協議会はなく、事業構成は適当であり、現段階では脱会はできない。	2	同左
3 施策の有効性	2	それぞれの協議会の目的に沿った施策が行われている。	2	同左
今後の展開・協働の可能性・事業の見直し等の担当への指示	地方分権が進む中で、広域的かつ多様化する行政需要に的確に対応できるよう、成果が期待できる広域行政機構の新設・充実、また、機能していない協議会については脱会を検討する必要がある。		兵庫・岡山両県境隣接市町村振興協議会での情報交換など積極的に行うこと。	
二次評価者コメント	役職 企画財政部長 氏名 玉垣 和志 構成団体も合併しており、より広い視野での取り組みが必要。			平成20年度 予算の方向性 前年度並みの配分